



教育目標

いきいきと たくましい さわやまっ子

さ さわやかな 笑顔
わ ワクワクする 感動体験
や やさしい 思いやり
ま まっすぐ 素直な心

人間関係	基本的な生活習慣	体験・チャレンジ
仲間づくり 先生や友達と共に過ごし、 仲良く遊べる子	自分でしよう 基本的な生活習慣を身につけ、 自分のことは自分でできる子	心を動かす 遊びを創りだし 遊び込める子

発達段階に応じた教育のめあて

3歳 まず…	〇〇ちゃんと一緒に 遊んだら楽しいな	できるかな？ まず一つずつ	はじめの一步 なんだろう、おもしろいな
4歳 なんども…	友達と一緒に やれば楽しいな	できるようになったよ！ もう一度	チャレンジ おもしろそう、やってみたいな
5歳 もっと…	みんなと遊んだら もっと楽しいな	できたよ！ もっとやってみよう	友達の輪 やっぱり！すごいな！

重点目標

- ・先生や友達の話をしっかり聞こう
- ・感じたこと、考えたことをしっかり表現しよう

- ・あいさつをきちんとしよう
- ・後片付けをしっかりしよう
- ・自分のことは自分で…

- ・環境に積極的に
かかわろう
- ・心をゆさぶられる
感動体験をしよう

< 幼稚園の特色 >



★ 住宅に囲まれた幼稚園です。
正門のところで、ぞうさんがお出迎え！
子ども達の人気者です。



★ 園舎の側面にはトレードマークのひまわりが
大きく描かれています！いつも子ども達を
あたたかく見守っています

幼稚園の生活



先生や友達と一緒に心も体も開放。安心して
遊べる環境で『思いきり』遊びます。



地域にも出掛け、いろいろ
な発見や人とのふれあいを
大切にしています。



遊んだ後は
みんなで
お片付け。
きれいにな
って気持ち
いいね。



毎週木曜日の『ひまわりタ
イム』子育て支援活動での
一コマ
親子で一緒に楽しい一時
を過ごします。

—研究主題—

子どもが夢中になって遊ぶ 環境とその援助 ～体を動かして遊ぶ～

○主題設定の理由

近年、子どもたちを取り巻く社会環境が大きく様変わりし、生活体験や自然体験等の直接体験の不足が指摘されています。本園においても、園周辺に工場や団地ができるなど、環境が大きく変わってきています。また、核家族化が進み地域社会活動への参加等も少ない家庭が多く、遊びの意欲が乏しかったり、基本的な生活習慣が身に付いていなかったりする子もいます。地域での遊び場も少なく、戸外で思いきり体を動かして遊ぶ機会も減少してきています。

そこで本年度は「子どもが夢中になって遊ぶ環境とその援助～体を動かして遊ぶ～」という研究主題を設定し、幼児がいろいろな遊びの中で十分に体を動かしたり、様々な活動に親しみ、楽しんで取り組んだりする姿を求めていきたいと考えます。幼児が自分から進んでかかわり、夢中になって遊び込むことができる環境を構成するとともに、夢中になって遊ぶ幼児の姿を見取ることから幼児理解を深め、援助の在り方について探り、教師の資質を高めていきたいと思えます。体を動かして「やってみたい」「もっとやりたい」と夢中になって遊ぶことから、幼児の心を育て、学びの芽生えを培っていく姿につながっていくだろうと考えます。

幼児理解を深める中で、幼児期にふさわしい経験を積み重ねることで、体を十分に動かして遊ぶ子どもの姿をめざし保育をしていきます。

◎研究の内容と方法

①研究主題の共通理解と保育記録の充実（エピソードの収集）

本園で考える、『体を動かして夢中になって遊ぶ』子ども像について職員間で共通理解し、日常の保育の中でのエピソードの収集（保育記録の充実）をはかり、体を動かして夢中になって遊ぶ姿を、学年や発達段階に応じて期で捉えて整理します。その際、デジカメで記録を残し、データをもとに職員間で環境の構成について協議します。

②保育環境・指導方法の探求

幼児が体を動かして夢中になって遊ぶための環境や手立てや支援の方法を、研究保育を通して話し合い、指導や援助に生かしていきます。

③『体を動かして夢中になって遊ぶ』を軸に教育課程を見直し、指導計画に生かします。

④家庭・地域とつながり支え合える実践

従来実践している取り組みを生かし、地域や様々な人との交流やかかわりを通して再考します。